

**GAGGENAU**

# DF 270 400F

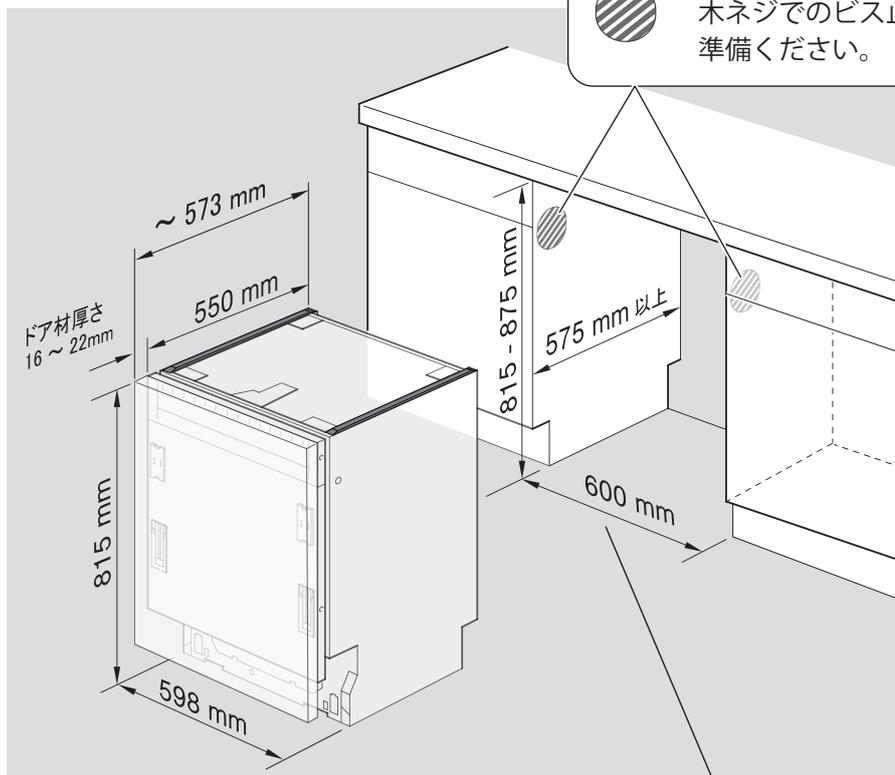
**ja** 設置説明書

事前準備

設置説明書

# 事前準備

## ■ 開口の準備



開口部 寸法

W : 600 mm

D : 575 mm 以上

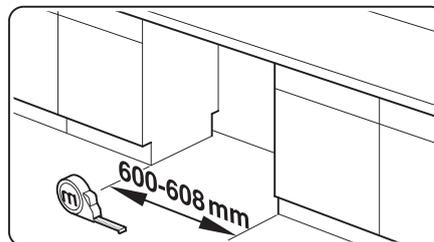
H : 815 - 875 mm

消防法 基準適合 組込形			
可燃物からの離隔距離 (cm)			
上方	側方	前方	後方
0	0	(開放)	0

本製品は「消防法 告示第一号 (対象火気設備等及び火気器具等離隔距離に関する基準)」に適合しております。  
建築物の可燃物等からの距離は表に掲げる値以上の距離を保ってください。

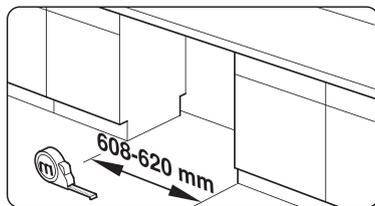
※当寸法は性能を示すものであり、開口寸法ではありませんのでご注意ください。

開口部・横幅 W 許容寸法

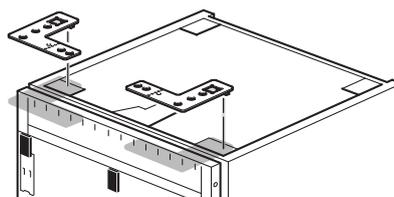


Note : 開口部の両側面に、本体固定ビスを使用出来ない場合

開口部横幅が許容寸法よりも大きい



「上止め金具」を使用し、開口部の上部に固定ができます。

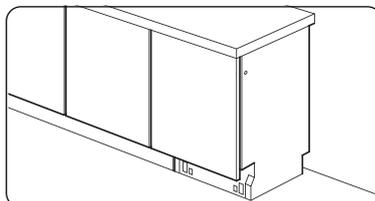


上止め金具

P622456 (別売)



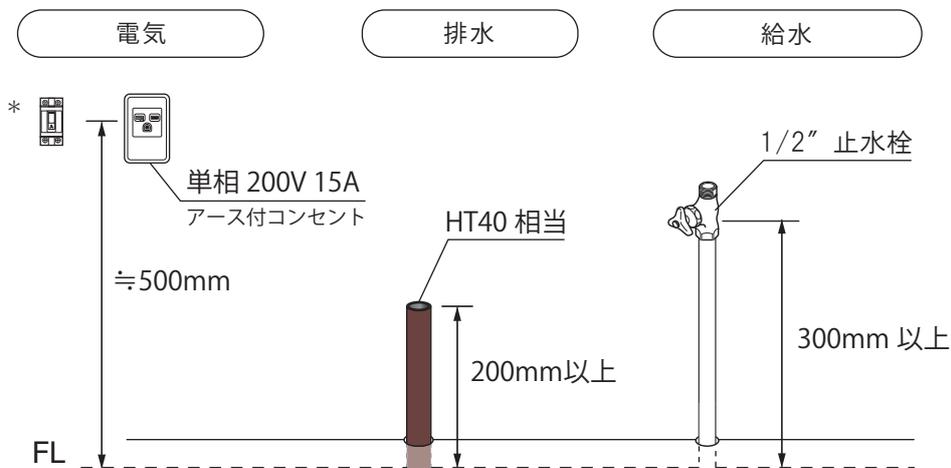
片側しかビス固定できない場合



※カウンタートップの裏面にビス固定するので、ビス止め可能な素材で準備ください。

## ■ 一次側設備の準備

各設備の仕様 一次側設備：電気、排水、給水を準備ください。



### ●電源

单相 200V15A (専用回路) アース付コンセント  
 パナソニック電工 WKS294 (露出型)   
 WN1932 (埋込型)

\* 専用の漏電遮断器の設置 推奨

本体底面から約 500mm 立ち上げ

### ●給水

- ・ 1/2" 止水栓
- ・ 本体底面から 300mm 以上 立上げ
- ・ 作動水圧：0.05 ~ 1.0Mpa

### ●排水

- ・ 排水管：耐熱塩ビ管を使用ください。(HT40 相当)
- ・ 排水工事はすべて水道法、建築基準法、および各都市の条例、規定に準じて実施ください。
- ・ 本体底面から 200mm 以上 立上げ

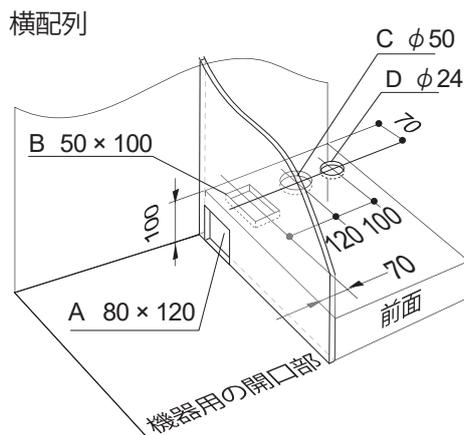
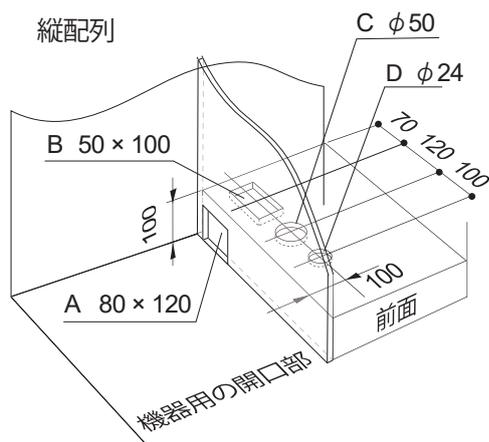
## 設置場所

これらの 1 次側設備は、お客様が容易に操作出来る位置、向きに取り付けてください。

- ・ 本体に隣接するキャビネットに設置
- ・ 本体背面に設置しない  
 → アイランドキッチンの場合で、下記条件を満たす場合、本体背面にも配置可能。  
 条件：「本体背面に十分な空間が有る」かつ「逆方向から点検板等でアクセス出来る」

## 配置例

※以下は機器の右隣りのキャビネットに設備を準備する場合の代表的な配置例です。  
 現場に応じて給水管、排水管、コンセントは適切な位置に配置ください。



- A ホース・コード引込切欠
- B ホース・コード引込穴
- C 排水管通し穴
- D 給水管通し穴

## ■ ドア材の準備

### ▶ ドア材 寸法

以下を参考にサイズを決定し事前に準備ください。

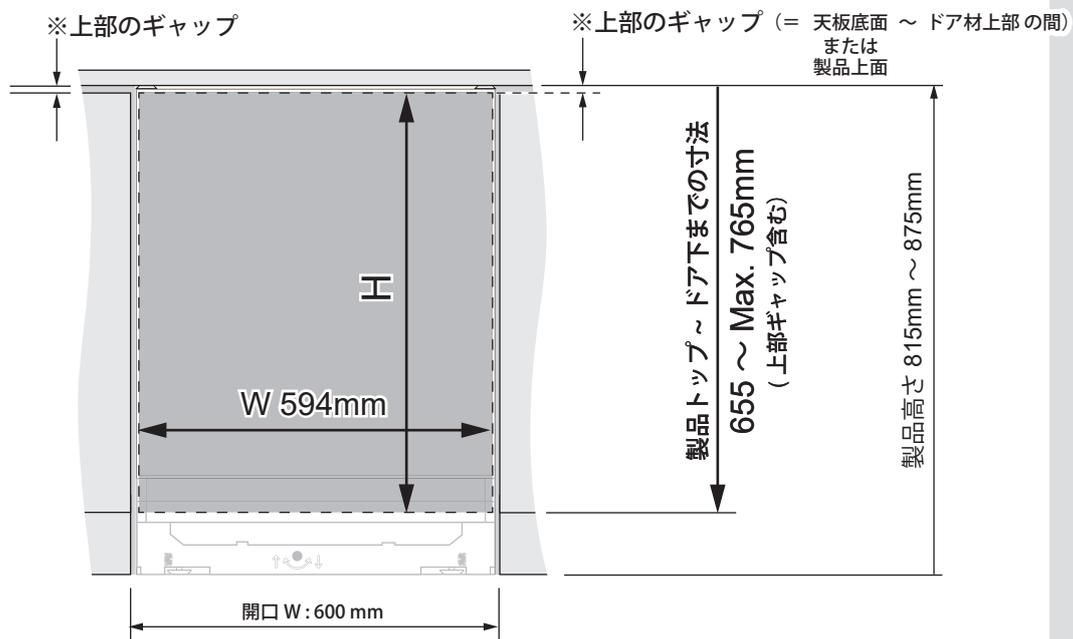
高さ :  $H = (655 \text{ mm} \sim \text{Max.}765 \text{ mm}) - (\text{※上部のギャップ})$

幅 :  $W = 594 \text{ mm}$

厚さ :  $t = 16 \sim 22 \text{ mm}$

重量 :  $4.5 \sim 11 \text{ kg}$

製品上部とキッチン天板の底面が接する様に設置します。  
この設置が出来ていることを前提条件に以下ご参考ください。



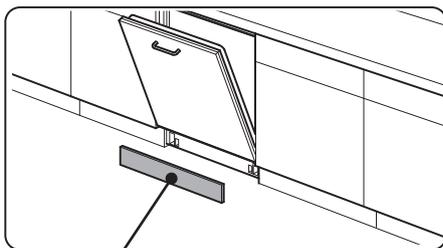
### ▶ 巾木 について

高さ :  $H = 50 \text{ mm} \sim \text{Max.}170 \text{ mm}$  ※上部のギャップ含む

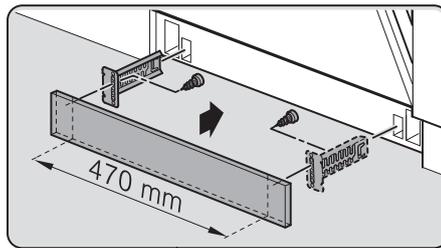
幅 :  $W = 598 \text{ mm}$  ← 参考寸法。周りのデザインに合わせて寸法を決定ください。

厚さ :  $t = 16 \sim 22 \text{ mm}$

参考)



巾木



→ 取付方法は「巾木の取付け」のページ参照

# 設置説明書

お客様へお渡しください

※ 本体の外及び庫内に部材等がはいつてますので、誤って廃棄しないようご注意ください！

(紛失の場合、再注文は可能ですが有償となります。)

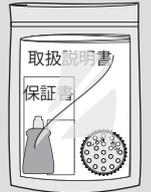
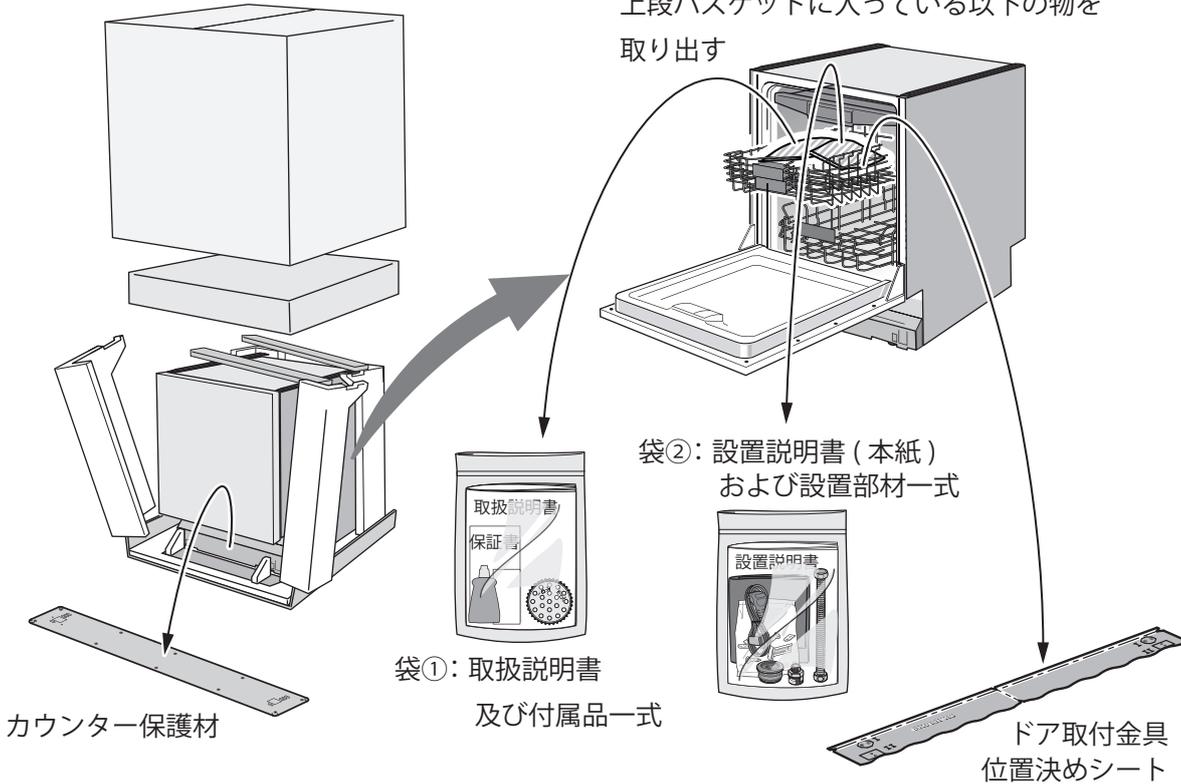
※ 設置後、設置説明書及び余った部材は、取扱説明書一式と併せてお客様へお渡しください。

## ■ 同梱物を取り出す

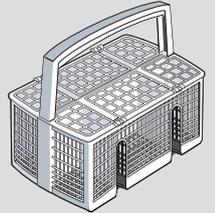
同梱物を取り出し、内容に不足が無いことを確認する。

製品を開梱し前面下にある部材を取り出す

上段バスケットに入っている以下の物を取り出す



取扱説明書一式

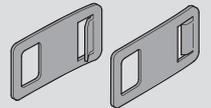


カトラリーバスケット



軟水塩用ファネル

(下段バスケットに同梱されています)



ドアリリース

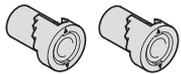
その他  
設置説明書  
設置後に余った部材

同梱の設置部材リスト ※以下、袋②の部材リストのみ。この他に資料（設置説明書・型紙など）を含む。

電源コード 1.75m

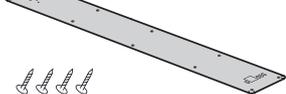


本体固定用パーツ



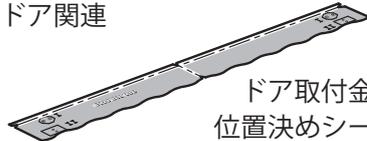
φ4X36  
2本

カウンター保護材



ドア開き幅調整  
φ4X30 2本

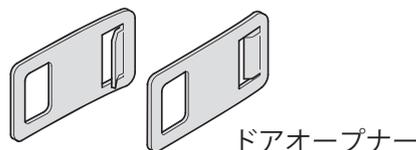
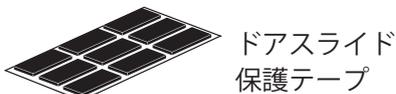
ドア関連



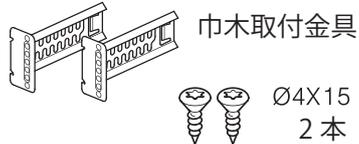
ドア取付部材Ⅱ  
(上用)

ドア取付金具Ⅰ  
(下側)

φ4X15  
8本

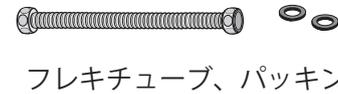


巾木関連



巾木裏覆いシート

給排水接続用



異径ニップル

ブッシング



設置説明書（本紙）  
および設置部材一式

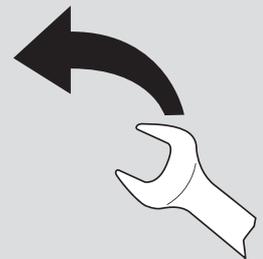
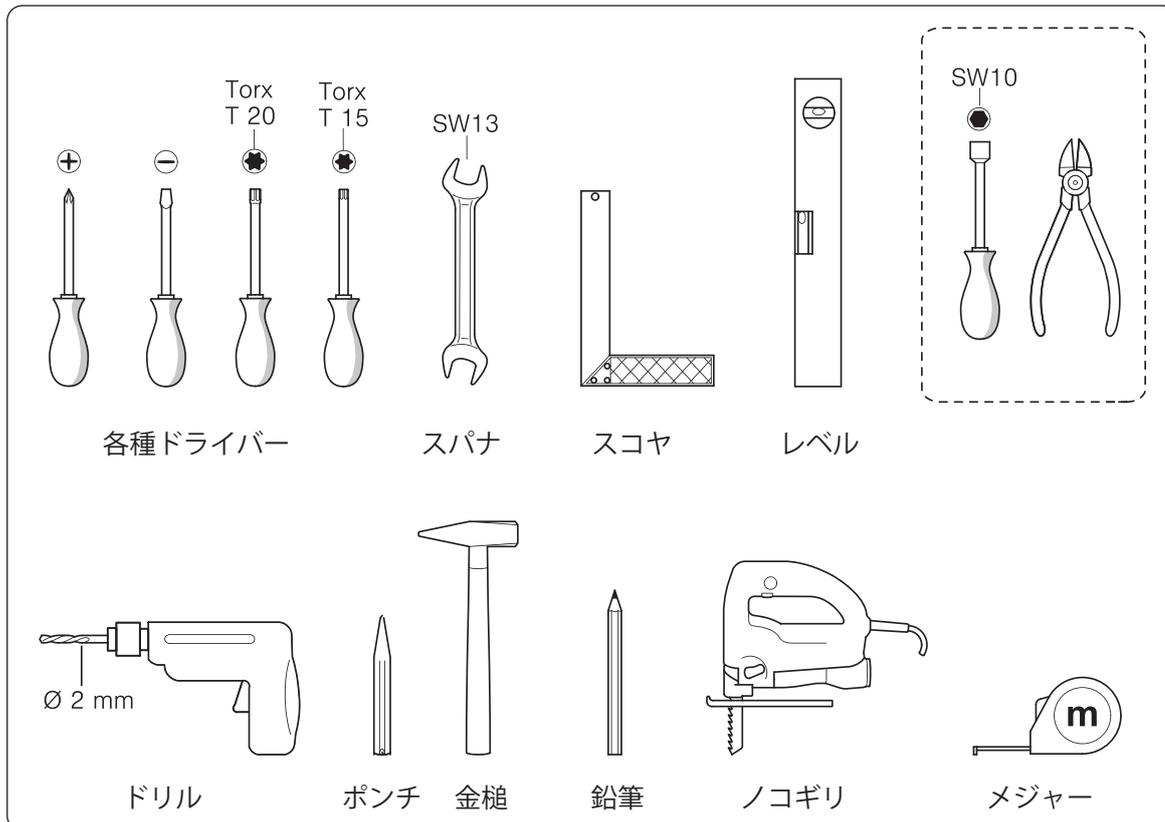


## 注意事項

- 本説明書は取扱説明書と併せて大切に保管してください。
- 作業前に本紙を一読してください。
- 作業前に1次設備側の準備が完了していることを確認してください。
- 開梱後すぐに同梱物に不足が無いことを確認してください。
- 作業用手袋を必ず着用してください。
- 製品を安全に使用するために、この設置説明書に従って正しく設置してください。
- 給水接続前に、上水道から異物が出てこないことを確認してください。  
(新築など上水道の工事後は上水道から異物が出るのが有ります。異物が出なくなるまで水を流した後、給水接続をしてください。)
- 当製品は必ずアース付きコンセントに接続ください。(アース無しコンセント変換プラグの使用不可)
- 設置後、機器が正常に作動することを確認してください。
- 給水接続部、排水接続部から水漏れが無いことをご確認ください。

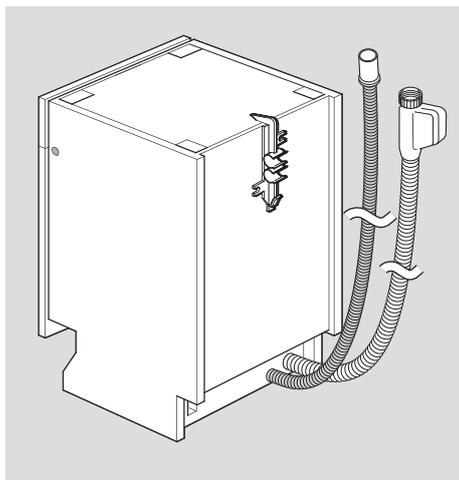
- ・掲載されている組立・施工説明書は専門知識を有する組立・施工業者様向けの内容となっております。
- ・商品の不具合や組立・施工時には危険が伴いますので、組立・施工は専門知識を有する組立・施工業者が行ってください。
- ・組立・施工業者様以外による組立、取付、修理、改造(必要部品の取外し含む)に起因する不具合は、商品保証の免責事項になっています。
- ・掲載されている内容は発行時点の内容です。改良のため予告なく商品の仕様を変更することがあり、現時点での商品に付属されている説明書の内容と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

## ■ 使用する工具 ※事前にご準備ください。

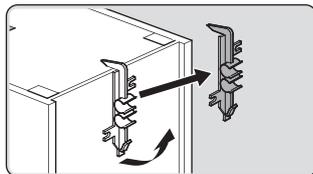


# 設置説明書

## ■ ホースを外し、電源コードを取付ける



ホースクランプを外す

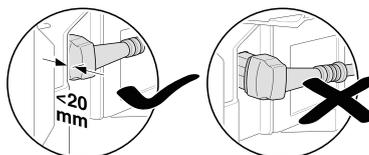
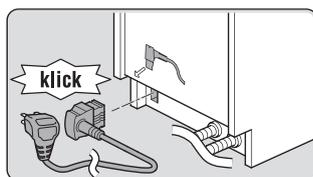


→「排水ホースの固定」で使用可能（→「接続」のページ参照）

→ 不要ならば破棄。

開口部の奥行に余裕が有れば、着けたままでも問題なし。

電源コードの取付け



飛び出し量：20mm 以下



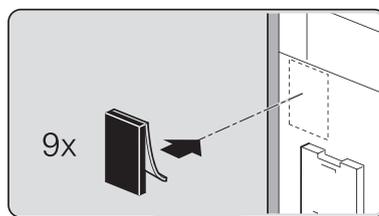
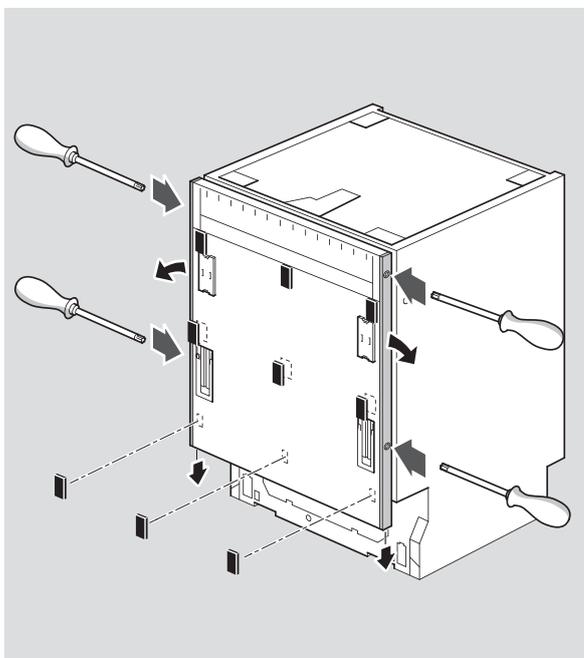
本体を開口部へ押込む前に必ず取り付けてください。

電源コードはクリック感が有るまでしっかりと

奥まで挿し込んでください。

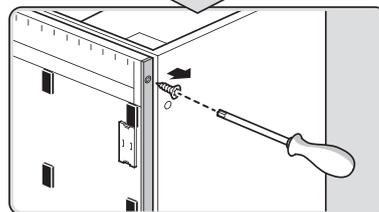


## ■ ドアの取付け準備



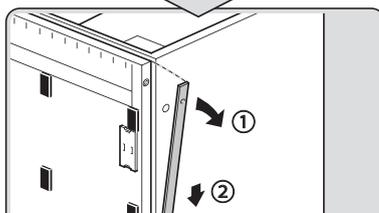
ドアの正面に  
ドアスライド保護  
テープを貼る。

9か所  
(左図参照)



ドア側面のネジを  
外す。

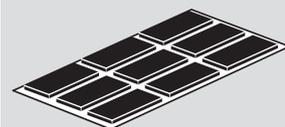
計4カ所



ドア側面のステン  
レスカバーを、  
図の様に①→②の  
順で取り外す。

### ※ 注意

- ・この時点では、ステンレスカバーの保護フィルムは付けたままにしてください。
- ・ステンレスカバーは後ほど取り付けるので、紛失または傷付ける事がないように安全な場所へ置いてください。

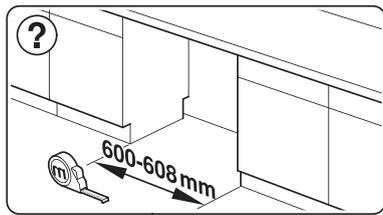


Torx T 15



# 設置説明書

## ■ 本体固定用のパーツを取り付ける



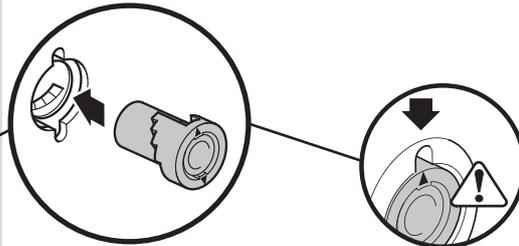
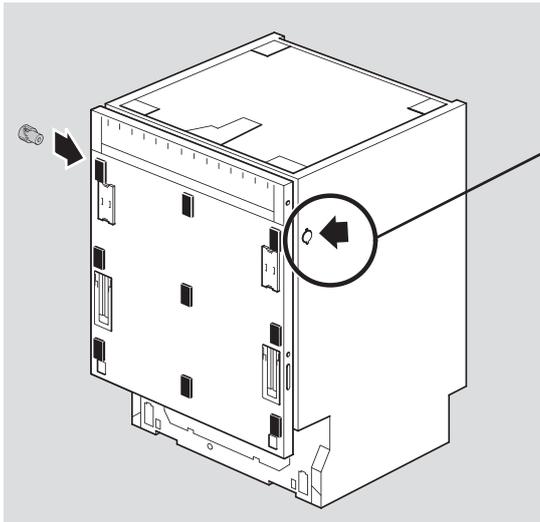
機器を収める開口部の横幅寸法を確認する

→ 600 - 608 mm ならば両側面にある穴に本体固定用パーツを取り付ける

→ 608mm よりも大きい場合、側面方向への本体固定は出来ません。 → P1 「上止め金具」 参照



本体固定用のパーツを本体の両側のくぼみに押し込み取り付ける。



パーツの▲マークが上または下になるまで押し込んで取り付ける。



本体を開口部へ押し込む前に取り付けてください。

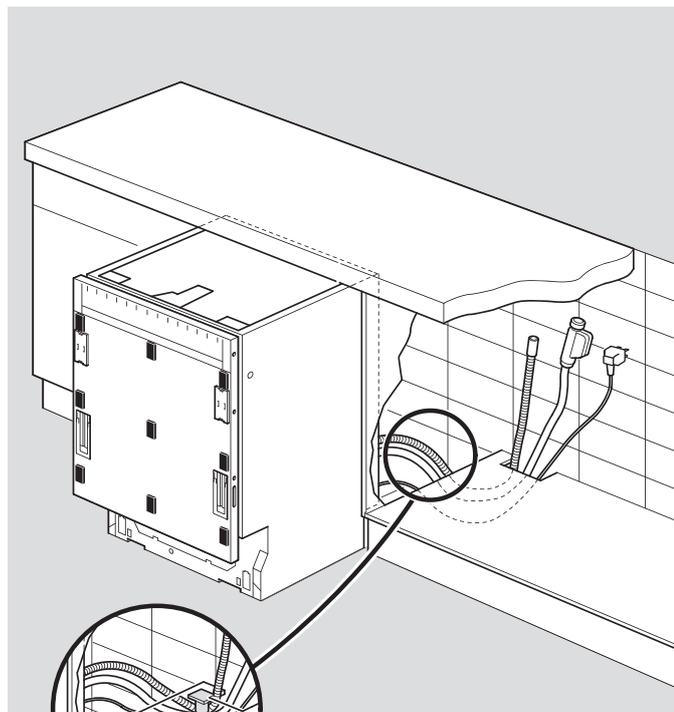


上止め金具

P622456 (別売)

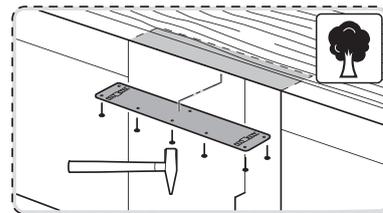


## ■ カウンター保護材の取付け → 本体を押し込む

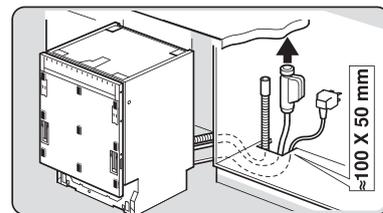


ホース・コードを引き込む際、折れたり、挟んだり、強引に引っ張って傷つけたりすると、水漏れの原因となりますので、慎重に作業を実施ください。

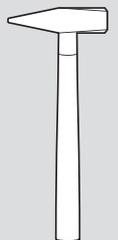
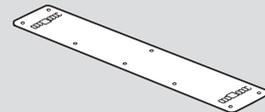
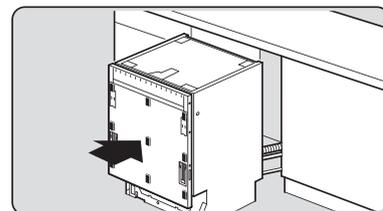
カウンター保護材を同梱の釘を使い天板裏に取り付ける



ホース・コードを切欠き→引込穴の順に通す

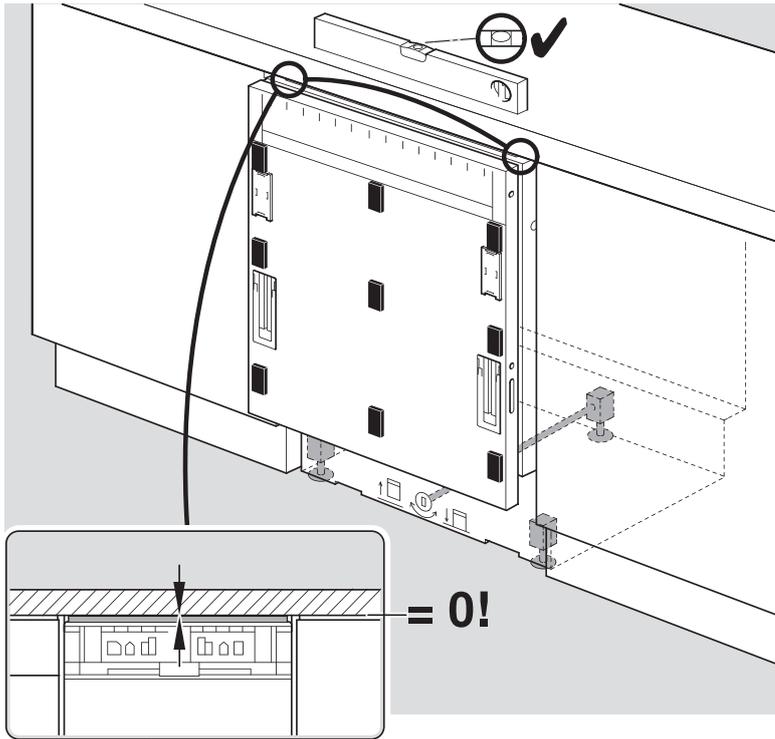


ゆっくりとホース・コードを引き込みつつ本体を押し込む



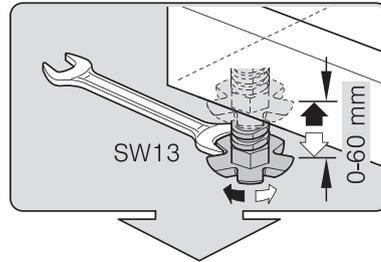
# 設置説明書

## ■ 本体の高さ調整



電動ドリルの使用禁止

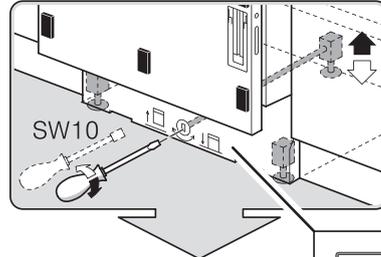
前脚（左右2か所）の調整



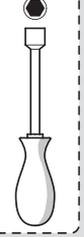
SW13



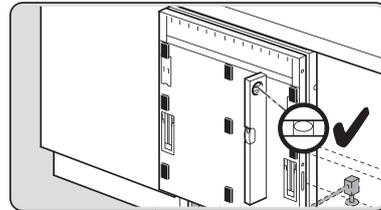
後ろ足の調整



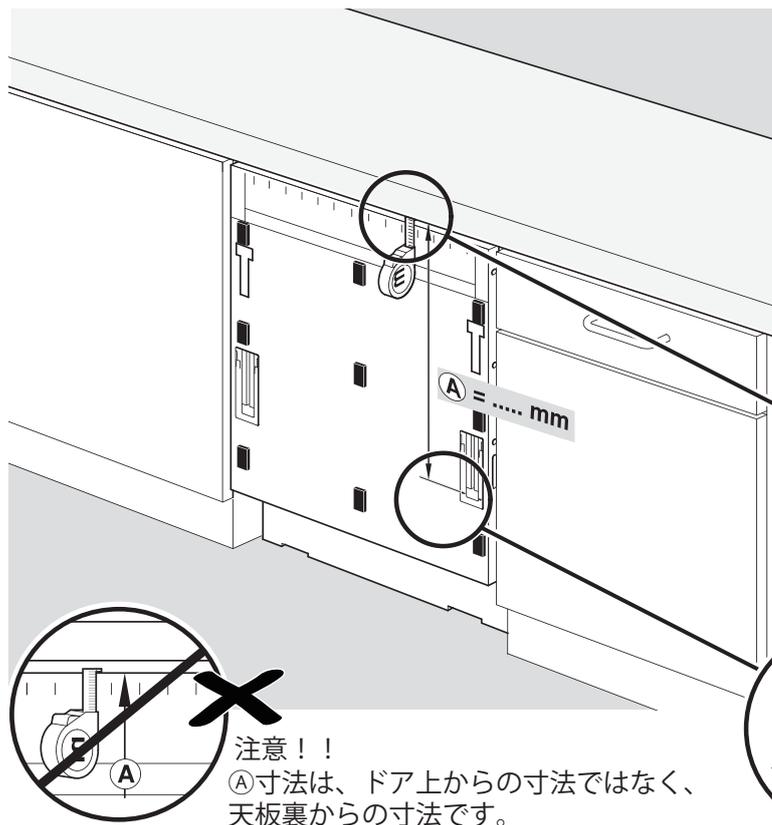
SW10



水平（レベル）の調整



## ■ ドア材取付① ①寸法の確認

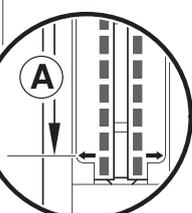
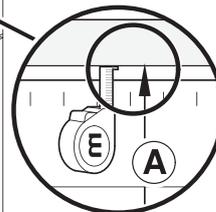


カバーを外す（下図参照）



①寸法を確認する

天板の裏から



←→の矢印マーク  
までの長さ

注意！！

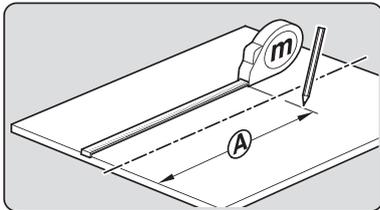
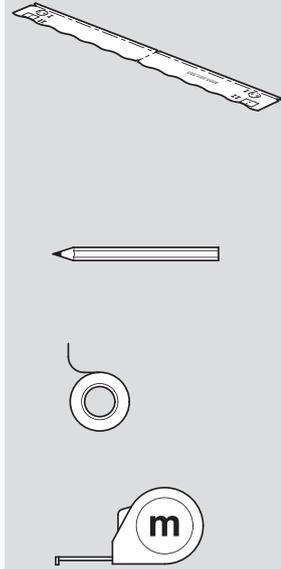
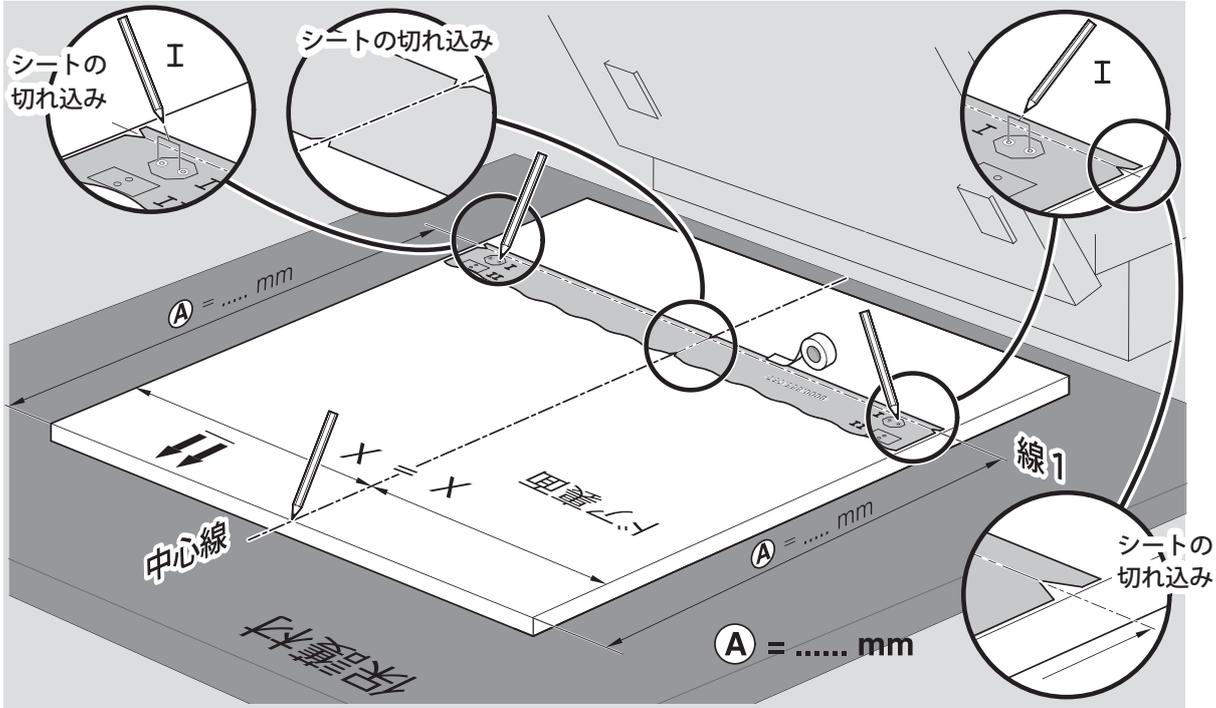
①寸法は、ドア上からの寸法ではなく、  
天板裏からの寸法です。



## ■ ドア材取付② 金具の取付位置決め 1



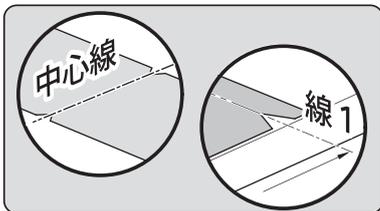
- 広い場所を確保ください。
- ドア材の裏面に取付金具を取り付けます。  
ドア前面を傷つけないよう保護材（毛布など）を下に敷いてからドア材を置いて作業を実施ください。



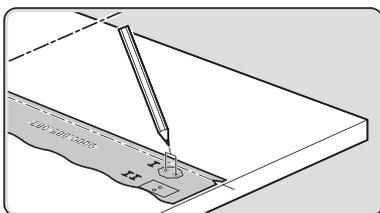
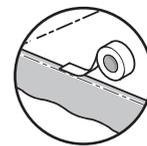
ドア材裏面にケガキ線を引く

① 中心線を引く（ドア材 W：594mm、X=297mm）

② ドア材の上から A 寸法の位置に線を引く（線 1）

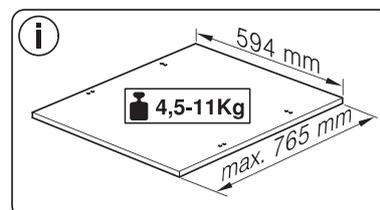


③ ドア取付金具位置決めシート（以下：位置決めシート）の上下左右にある「切り込み」に、先ほど引いた中心線、線 1 を合わせる。位置が決まったらシートがずれないようにマスキングテープで仮止めする。

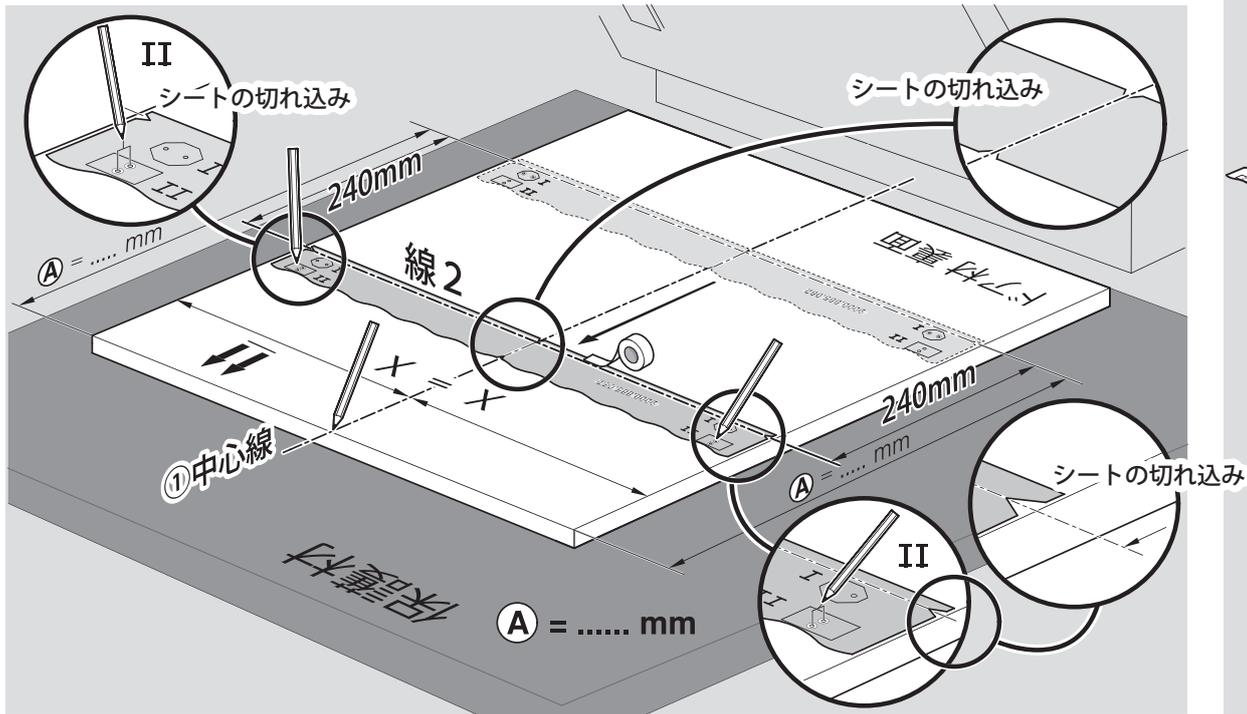


④ 位置決めシート上の両端にある、ドア取付金具 I の穴に鉛筆などで印を付ける。

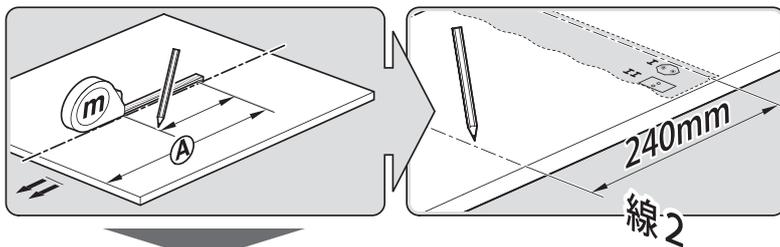
参考：ドア材寸法 および 重量



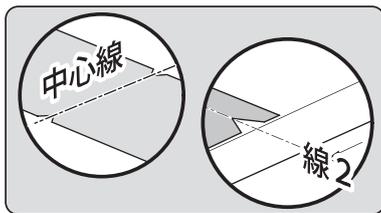
## ■ ドア材取付② 金具の取付位置決め 2



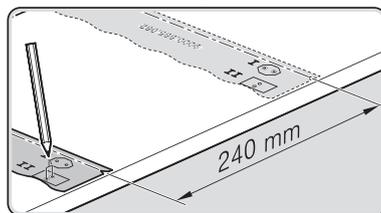
ドア材裏面にケガキ線を引く - 続き



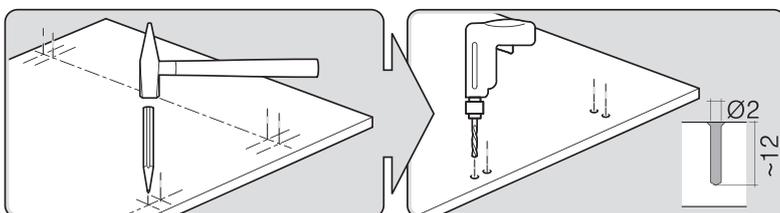
⑤ ④からドア材の上に向かって  
240mm の位置に線を引く。  
(線 2)



⑥ 先ほどと同様に、  
位置決めシートの上下左右にある「切れ込み」  
に、先ほど引いた中心線と線2を合わせる。  
位置が決まったらずれないようにマスキングテー  
プなど仮止めする。



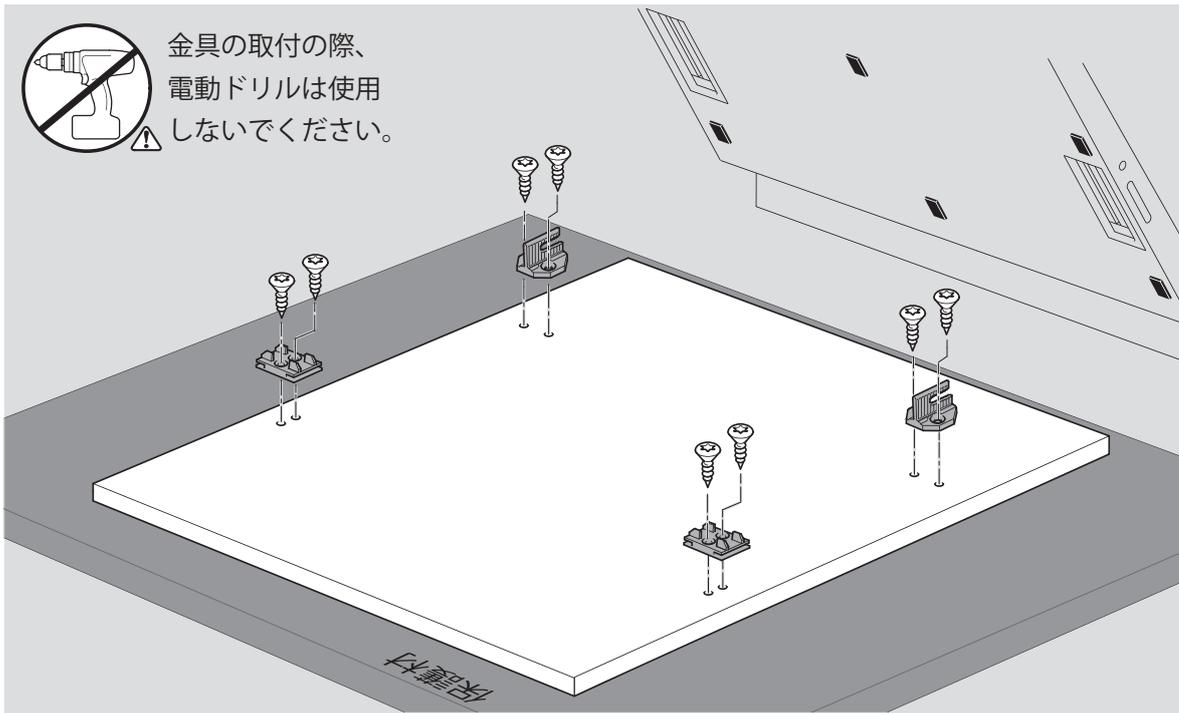
⑦ 位置決めシート上の両端にある、**ドア取付金具 II** の穴に  
鉛筆などで印を付ける。



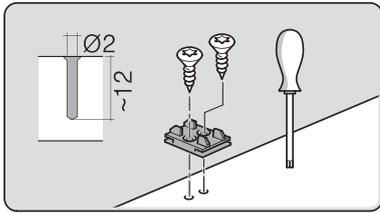
⑧ ④と⑦で印を付けた箇所に  
ポンチ打ちを行い、  
ドリルで穴をあける。  
穴： $\Phi 2\text{mm}$  x 深さ 12mm 以下

# 設置説明書

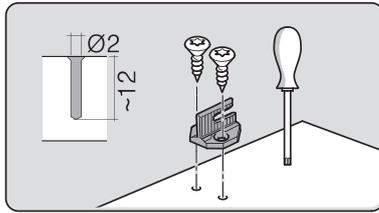
## ■ ドア材取付③ ドア材取付金具 I、部材 II の取付け



ドア材取付部材 II

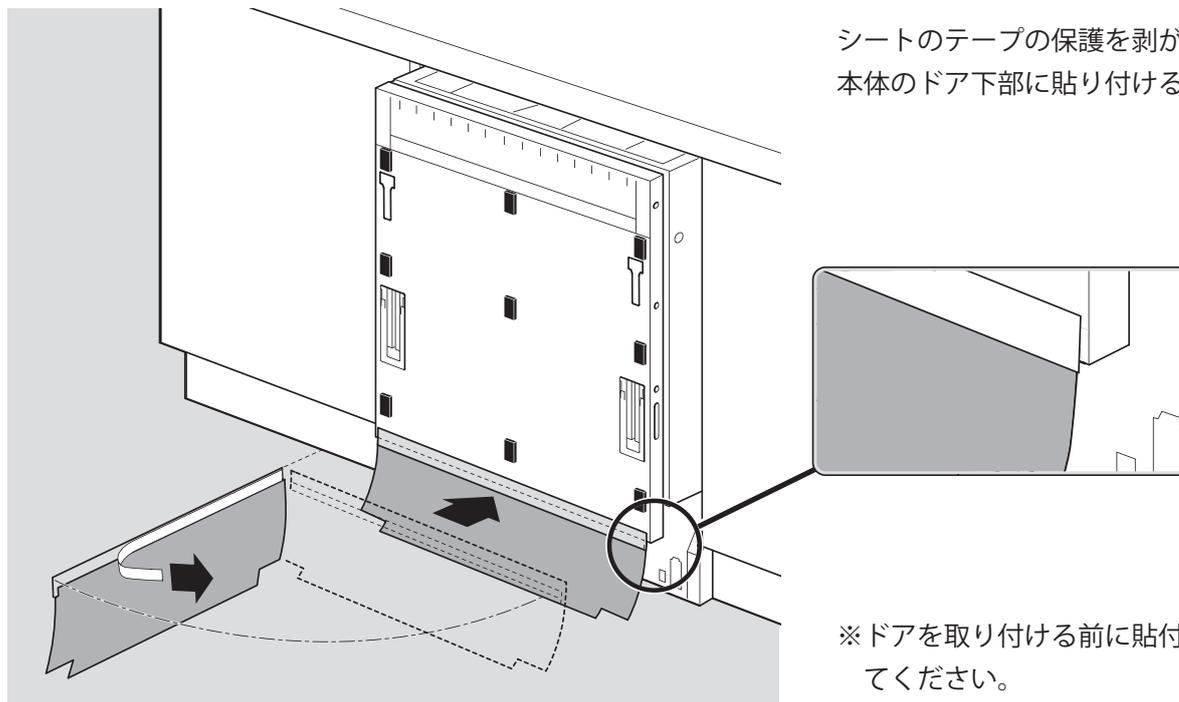


ドア材取付金具 I



Φ4×15 のネジで  
それぞれのパーツを  
取り付ける。

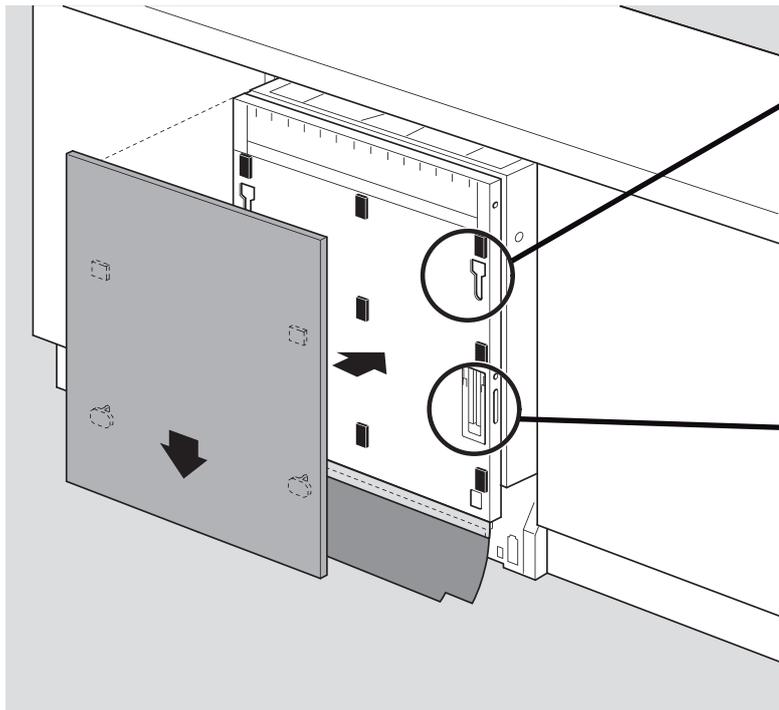
## ■ ドア材取付④ 巾木裏覆いシートを貼り付ける



シートのテープの保護を剥がし  
本体のドア下部に貼り付ける。

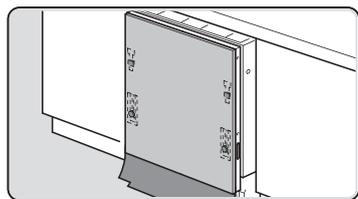
※ドアを取り付ける前に貼付け  
てください。

## ■ ドア材取付⑤ ドア材を取り付ける



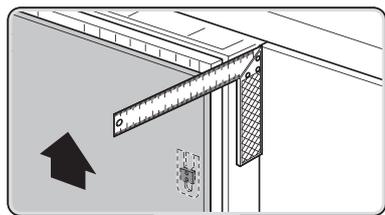
ドア材取付部材Ⅱをドア前面上部の穴に入れ、取付部材Ⅱの溝に合うようにドア材を上から下へスライドさせ取り付ける。

この時、ドア材取付金具Ⅰはドア前面下部の縦溝にはめつつ下にスライドさせ溝の中にあるバーに引っ掛ける。



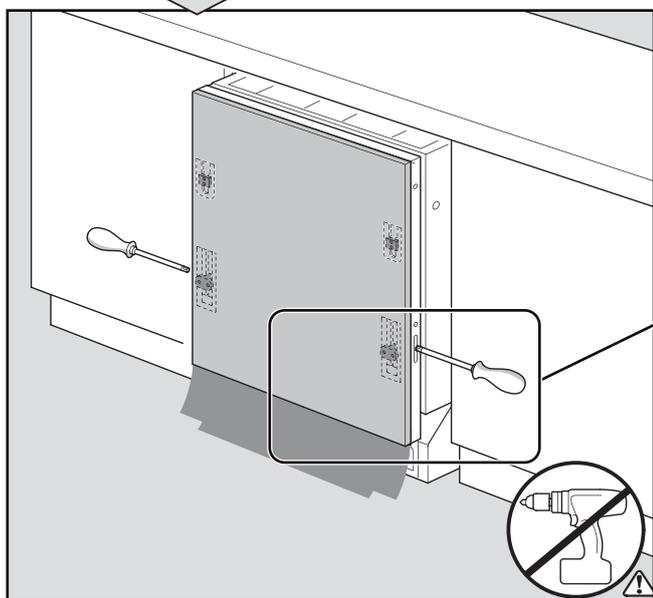
※注意：ドアを引っ掛けただけの状態の為、この状態で開け閉めを行うとドアが落ちることがあります。  
開け閉めの際は、ドアが落ちないように十分に注意ください。

## ■ ドア材取付⑥ ドア材の高さ調整と固定

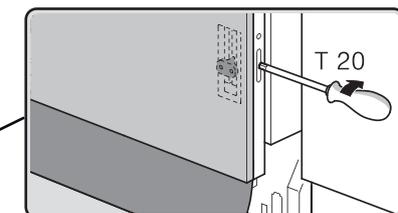


スコヤなどを使い隣の扉の高さとドア材の高さを合わせる

※ドア材を上へスライドさせ過ぎると落下するので加減に注意。



ドア材の高さの位置が決まったら下にズレないように支えつつドアの側面の下部のネジを（図参照）両側とも締めてドアを固定する。



※注意※

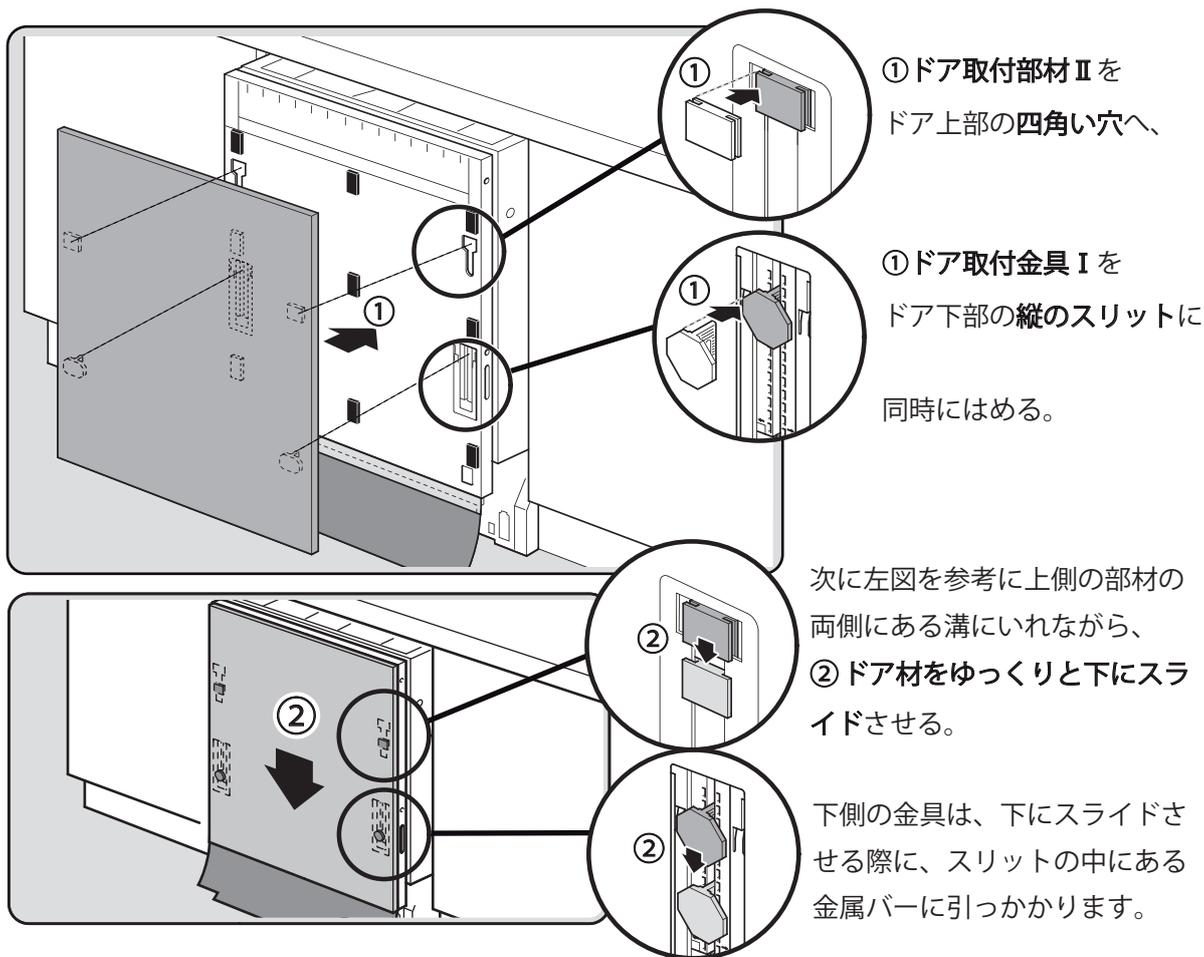
ドア材が固定されていないと落下する恐れがありますので必ずこのネジは締めてください。



Torx  
T 20

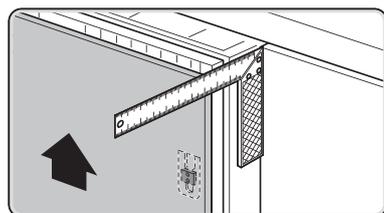


## ■ ドア材取付⑤ ドア材を取り付ける



※落下注意：まだドア材を引っ掛けただけの状態です。  
この状態で開け閉めを行うとドアが落ちることがあるので十分に注意ください。

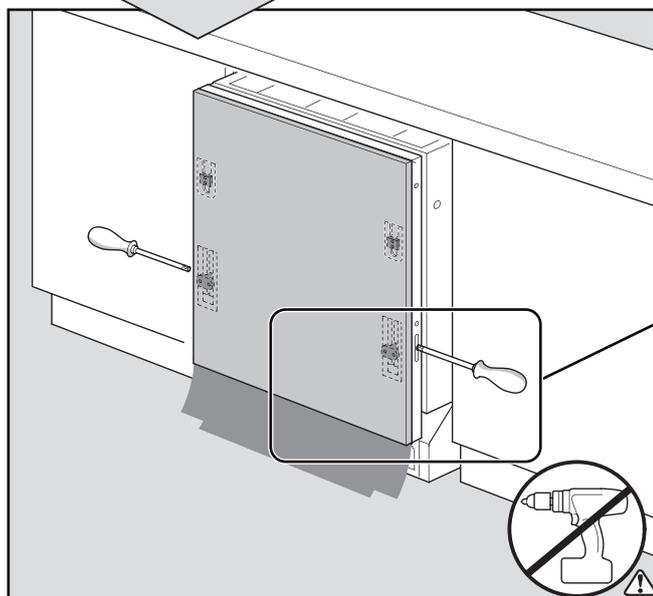
## ■ ドア材取付⑥ ドア材の高さ調整と固定



### 高さ調整

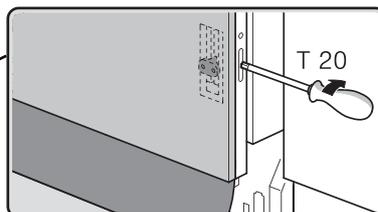
ドア材を上下にスライドさせて高さを微調整する。  
スコヤなどを使い隣の扉の高さとドア材の高さを合わせる。

※落下注意：ドア材を上へスライドさせ過ぎると落ちることがあるため、加減に注意ください。



### 固定

ドア材の高さの位置が決まったら下に  
ズレないように支えつつドアの側面下部  
のネジを（図参照）両側とも締めて  
ドアを固定する。



### ※注意※

ドア材が固定されていないと落下する恐れが  
ありますので必ずこのネジは締めてください。



Torx  
T 20

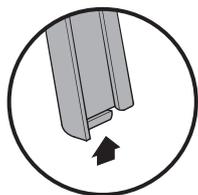


# 設置説明書

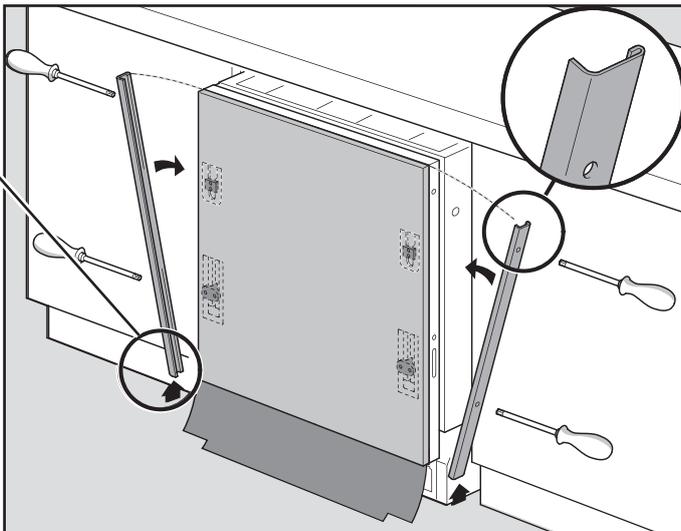
## ■ ドア材取付⑦(ラスト)

最初に外した、側面のステンレスカバーを取り付ける。

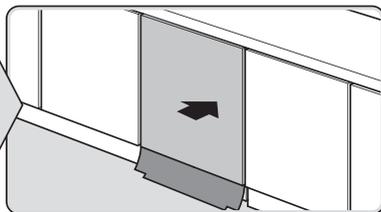
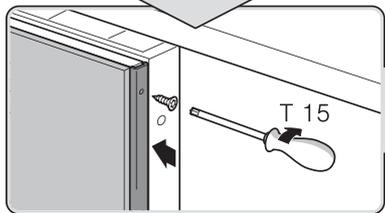
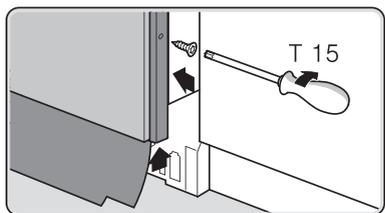
 電動ドライバーは  
使用しないでください。



ステンレスカバーの下にある  
引っ掛かりをドア下に掛けて  
から取り付け、ねじをしめる。



Torx  
T 15

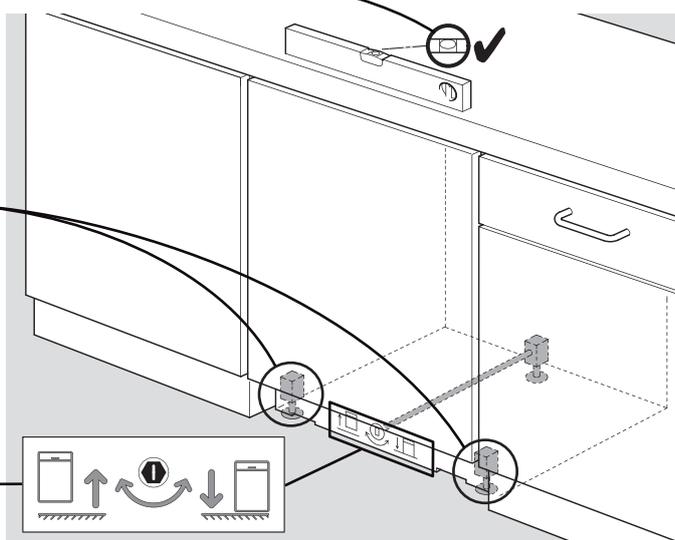
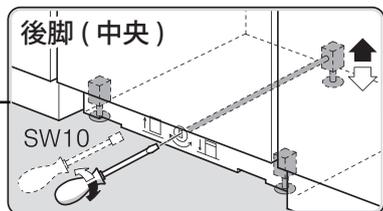
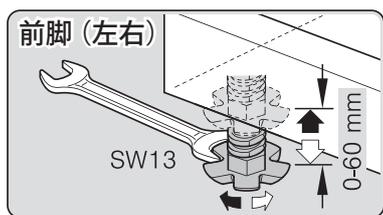


ステンレスカバーが付け  
たら、ドアの取付は完了で  
す。本体を開口部へ収める。

## ■ 本体の固定① 高さの調整

本体を上げる前と後で、天板の水平を確認する。

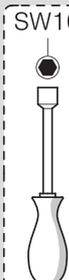
本体の下にある高さ調整の脚を  
前後左右をバランスよく上げる



SW13

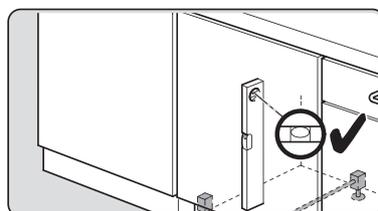
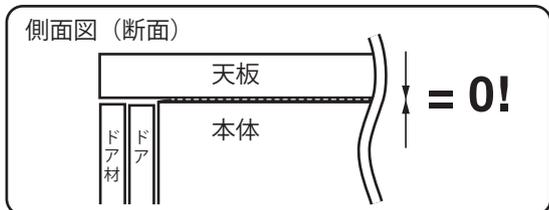


SW10



本体が天板裏に当たり、少し突っ張るぐらいまで  
高さを上げる。左右の隙間もここで調整する。

天板を押し過ぎていないか水平を確認  
し、本体前面の水平も調整する。

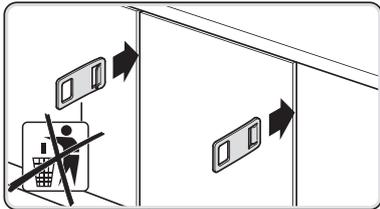


# 設置説明書

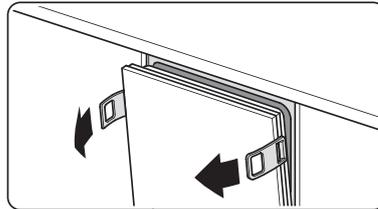
## ■ プッシュオープン後のドア開き量の調整

### ▶ ドアを開く

ドアオープナーを使い、図を参考にドアを開ける



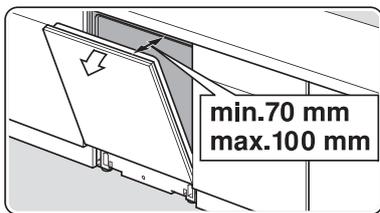
ドアオープナーを持ち  
ドアの横の隙間に挿入する



オープナーの返し部分をドアに  
引っ掛けてゆっくり手前に引く

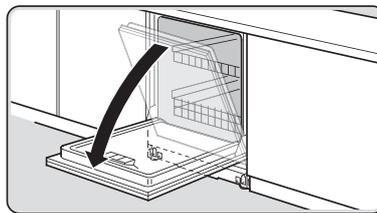
ドアは2段階で開きます

1段階目：



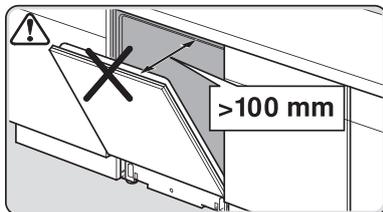
ドアをプッシュするとドアが自動  
で開き、上図の様に一旦止まる

2段階目：



その後、手でドアを全開にする

### ▶ 開き量を確認

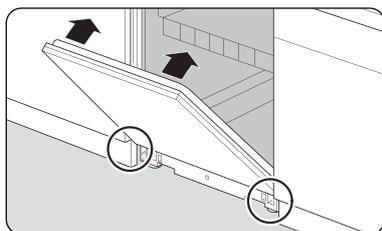


確認：1段階目の開き量が、

70mm ~ 100mmの場合 → 調整の必要無し

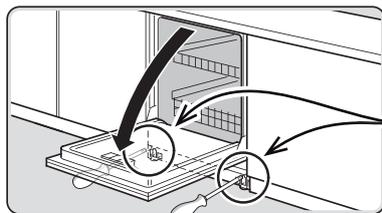
100mm 以上の場合 → 調整する必要有り

### ▶ 開き量の調整

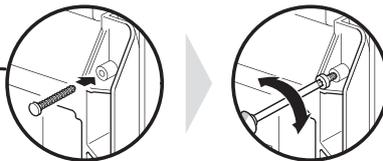


ドア下の図の箇所に、調整用のねじ穴があり、  
ねじを締めるとドアの開き量が少なくなる方向  
に調整できます

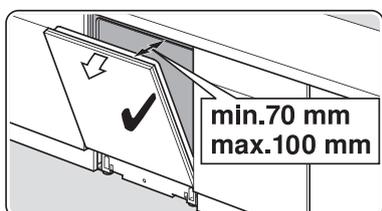
⚠ 電動ドライバーは使用しないでください



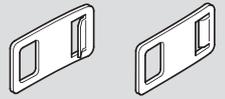
ドアを全開にして、左右均等にねじを締める



※ドライバーでドアを傷つけないよう注意！



開き量が 70 ~ 100mm の範囲に入れば調整完了



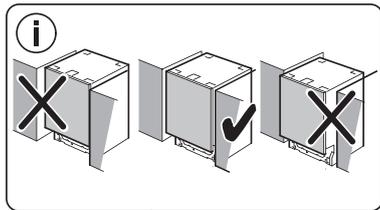
Ø4X30



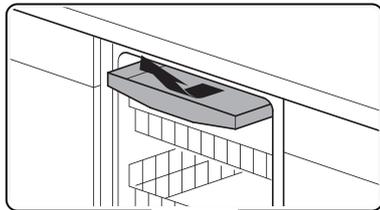
Torx  
T 20



## ■ 本体の固定②

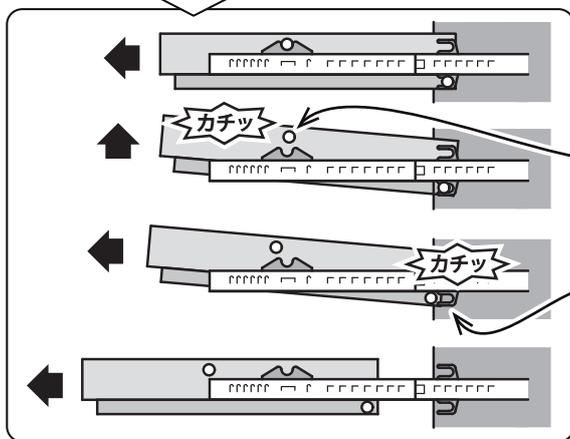


本体の面が合っていることを確認する。  
→合っていない場合、前の項目に戻り再調整する。



庫内側からねじ止めするため、作業の際に邪魔になるカトラリートレーを一旦取り外す。

### ▶カトラリートレーを外す



カトラリートレーを引き出す

トレーの手前を持って上にあげ、両側にあるロックを外す

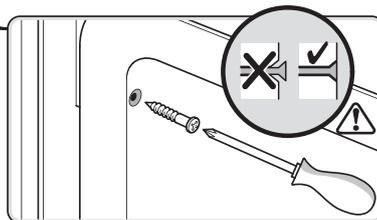
手前に引き奥のロックを外す

レールに沿って手前に引き出す

### ▶本体を固定する

⚠ 電動ドライバーは使用しないでください

庫内の両側面に、ねじ締めを行う。



× ねじ締め不十分：ねじ頭が出ないこと

× 締め過ぎ注意：ねじ穴を潰さないこと

### ▶カトラリートレーの取付け

外した時の逆の手順で取り付けます。

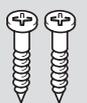
左図を参考に、両方のレールを全て引出しレールにロックを通す形でトレーを入れていく

奥のロックをはめる

両側面のロックをはめれば、取付完了



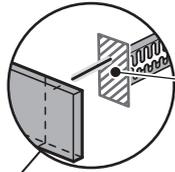
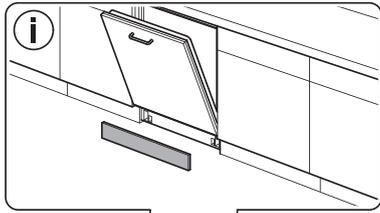
Ø4X36



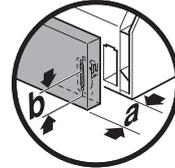
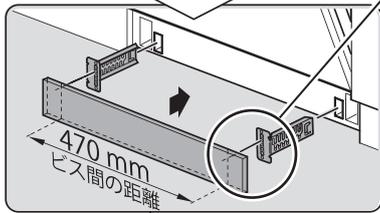
# 設置説明書

## ■ 巾木の取付け

### ▶一般的なケース

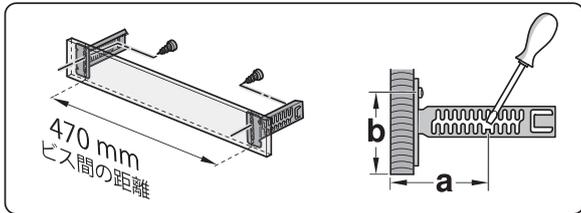


ワンポイント：  
取付金具の“巾木と接する面”に両面テープを貼っておくと、比較的簡単に作業を行うことができます。

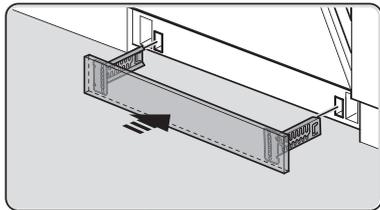


巾木取付金具を本体下の装着部に少し挿入し、巾木を当てて面を合わせる。

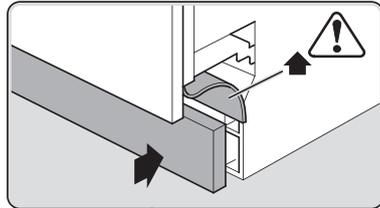
奥行 **a** (本体下部前面 ~ 巾木厚さ含む) を確認する。  
その後高さ **b** (ビスを打つ箇所) を確認し印をつける。



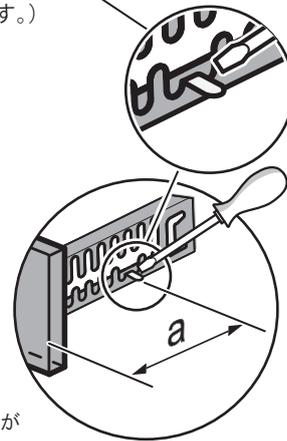
**b** の位置に、  
奥行 **a** の位置にある突起を外側に折り曲げる。  
(→ ストッパーになります。)



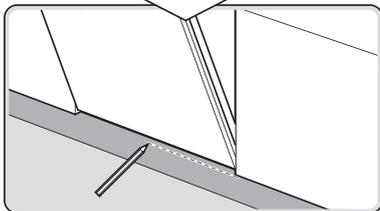
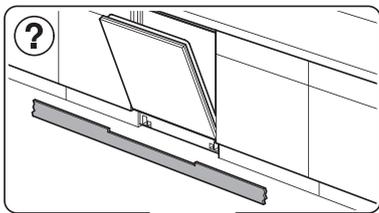
金具の取付ができたなら巾木を本体に取り付ける。



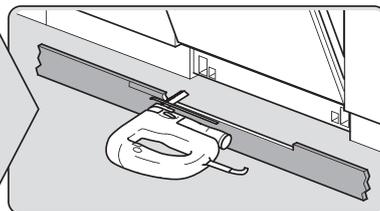
本体に挿す際に入れにくい場合、巾木覆いシートが邪魔をしている可能性があります。  
シートを少し持ち上げて金具を本体に挿入してください。



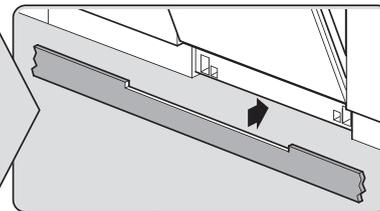
### ▶通し巾木の場合



巾木を仮で設置しドアをゆっくり開け  
干渉する部分 (= カットする部分) に  
線を引く。

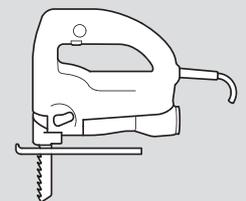
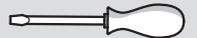
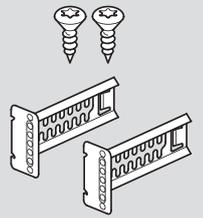


不要な箇所をカットし、巾木を取付け、  
ドア開閉時に当たらないことを確認する。



巾木に当たるなど干渉する際は、再度  
不要部分を確認、カットするなどして  
調整してください。

Ø4X15

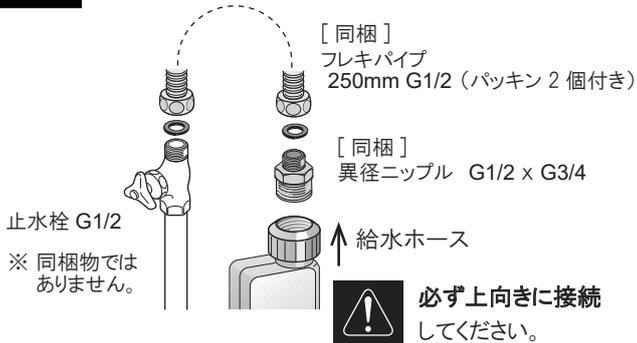


# 設置説明書

## ■ 接続

●排水工事はすべて水道法、建築基準法、および各都市の条例、規定に準じて行ってください。

### 給水接続

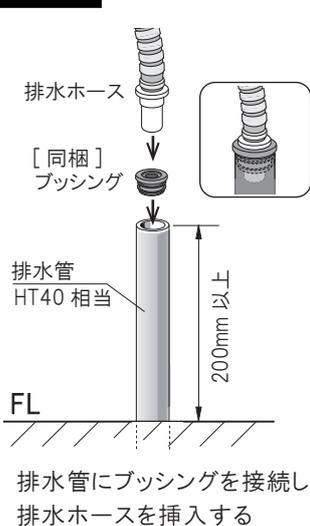


作動水圧：0.05Mpa ~ 1Mpa  
※ 1 分間に 10L 以上

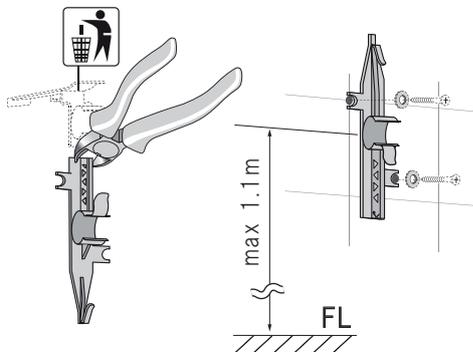


水温：~ max.60℃  
※ 初期設定：給水接続  
給湯接続の場合、設定変更が必要

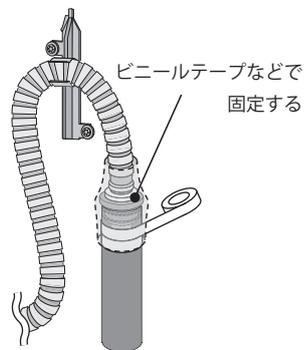
### 排水接続



排水ホースを壁に固定したい場合



開梱時に本体背面についていた、  
ホースを固定していた部材が流用できます。  
上図を参考に不用箇所をカットしビスで固定する。

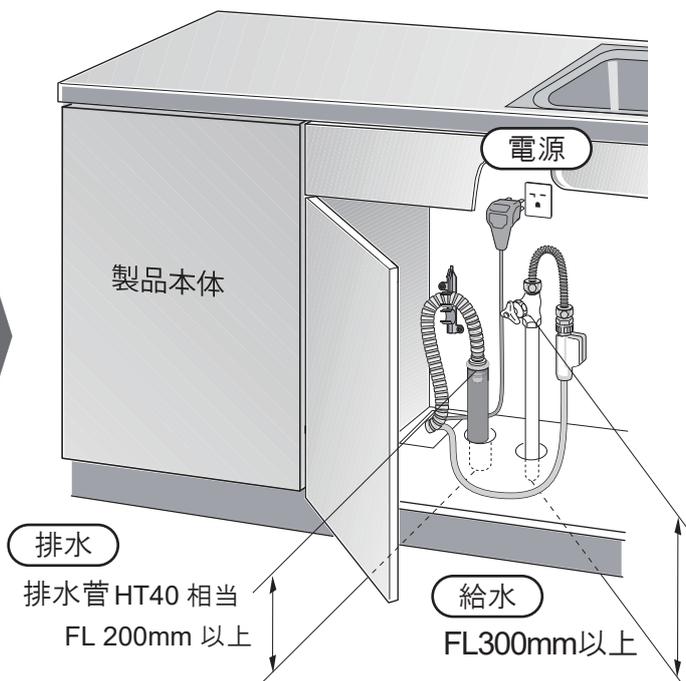


排水ホースを排水管に挿し  
ホースをビニールテープなど  
で固定してください。



コンセントは、AC200V への  
切替が必要です。  
接続前にコンセントの電圧を  
必ずテスターで確認ください!!

### 接続完了後の全体イメージ



➔ 全ての接続が完了した後、止水栓を開きます。

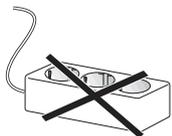
### 電気接続

専用コンセントで準備ください



\* 専用回路に漏電遮断器の設置を推奨

電源タップの使用禁止



### 参考情報

单相 200V/15A

相当品

パナソニック電工

WKS294 (露出型)

WN1932 (埋込型)

## ■ 設定

試運転前に、「基本設定」の以下項目を設定ください。設定方法は、取扱説明書の「基本設定の概要」をご参考ください。

### ▶ Time setting / 時刻設定

→ 「Time setting」の項目を現在時刻に設定してください。

### ▶ Water connection / ウォーターコネクション

- ・ 給水接続の場合 → 設定不要（工場出荷時の設定が「Cold water」=給水接続のため）
- ・ 給湯接続の場合 → 設定が必要です。  
「Water connection」の項目を「Hot water」に設定してください。

Note：基本設定のその他の項目は、出荷前に設定済

## ■ チェック項目

設置完了後、以下をご確認ください。

- 給水ホース／排水ホース／電源ケーブルは、設置説明書通り施工できていますか？
- 給水ホース／排水ホース／電源ケーブルは、はさまったり、折れ曲がったりしてませんか？
- 電源電圧（コンセント）は AC 200V ですか？（テスターでご確認ください）
- ドア材固定のネジ（ドア側面）は締めましたか？
- ドア側面ステンレスカバーは取り付けましたか？
- プッシュオープンは正常に動作しますか？（開き量の調整もしましたか？）
- 試運転を実施ください（任意のプログラムを1サイクル運転してください）
  - 給水の接続部からの水漏れが無いことをご確認ください。
  - 排水の接続部からの水漏れが無いことをご確認ください。
  - プログラムスタートして数十分後（30～40分後）庫内の水がお湯になっていることをご確認ください。

ガゲナウ・ビルドインキッチン機器 総輸入発売元  
株式会社 N・T・E・C

■ 本社  
〒651-1411  
兵庫県西宮市山口町名来 2-23-7  
TEL. 078-904-3101 FAX. 078-904-3102

■ 東京支店  
〒106-0044  
東京都港区東麻布 1-8-4  
TEL. 03-5545-3877 FAX. 03-5545-3878